

事業所名

ぱれっと草薙南

支援プログラム

作成日

令和 7年

3月

12日

法人（事業所）理念		障害児・障害者の選択肢を増やし、可能性を広げ引き出します。将来の自立や自活をを目標に、個別指導・集団指導をしていきます				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児及び障害児の保護者の意向、障害児・者の特性や障害児の適性、その他の事情をふまえた放課後等デイサービスの計画を作成しこれに基づきサービスを提供します。</li> <li>・その効果について継続的な評価を実施していきます。支援や環境作りが適切であったか障害児・者の表れや保護者の声を参考にしながら検証します。</li> <li>・目標は将来の自立や自活であることを確認し、自分の力でやろうとする気持ちや適切な方法で周りの人に助けを求めることができる人になることをめざします。</li> </ul>				
営業時間		平日 8時 30分 休日 10時 30分	分から 17時 30分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康状態の維持・改善</li> <li>○生活習慣や生活リズムの形成</li> <li>○基本的生活スキルの獲得</li> <li>○生活マネジメントスキルの育成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な心身の状態の把握（体温だけでなく表情や言動も）不安定な時には、積極的に保護者とも連絡を取り合う</li> <li>・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援</li> <li>・衣服の着脱・買い物・排せつ・食事やマナーなど（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む）</li> <li>・スキルの習得だけでなく、自治や自律をめざし、実際の場面に活かすことができる</li> </ul>		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</li> <li>○身体の移動能力の向上</li> <li>○感覚の特性への対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具での遊びやダンス、ストレッチ、運動指先トレーニング、外部の団体と連携した運動プログラムを組む。</li> <li>・事業所外での移動や交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。</li> <li>・写真カード、絵カードなどの活用するが、実際に伝わっているか必ず検証する。</li> </ul>		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知特性の理解と対応</li> <li>○適切な認知と適切な行動の習得</li> <li>○行動障害の予防及び対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化、環境の工夫。保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊びの時間も活用して支援する。</li> <li>・認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるように支援する。気持ちの安定や余裕が不安や偏食を軽減する。</li> <li>・小集団での遊びでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮。タイムテーブルの確認による時間の認知形成</li> </ul>		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションの基礎的能力の向上</li> <li>○言語の受容と表出、言語の形成と活用</li> <li>○コミュニケーション手段の選択と活用</li> <li>○読み書き能力の向上</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの表現方法を獲得し、相手に伝わった喜びを気持ちの安定や他者への意識につなげる。</li> <li>・言葉だけでなく、表情や身振り、指さしや文字等を用いた意思のやりとりができるよう支援する。</li> <li>・文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用</li> <li>・個別または小集団で学ぶ楽しさを実感できるようその子にあった支援方法を考え実践する</li> </ul>		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アタッチメントの形成と安定</li> <li>○情緒の安定</li> <li>○他者との関わり(人間関係)の形成</li> <li>○遊びを通じた社会性の発達</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる環境を作り、信頼できる友だちやスタッフの存在を感じられる支援方法を探る</li> <li>・自分の今の状態を知り、どのようにしたら安定して気持ちよく過ごせるか一緒に考える。</li> <li>・一人遊びから並行遊び、職員が介入する協同遊びをと段階を踏み、社会性の発達を支援する。</li> <li>・見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。</li> </ul>		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅または事業所内で具体的で効果のあると思われる支援を提案する</li> <li>・保護者との面談やレスパイト、延長支援対応。</li> <li>・家族(きょうだいを含む)からの相談に対する助言をし、必ずその後の検証を行う</li> </ul>		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所・児童発達支援事業所・進学校等との連携や情報交換</li> <li>・移行支援法人内での就労B型支援事業との連携や情報交換や協働</li> <li>・自立に向け円滑な移行に向けた作業や農業体験をプログラムに組み込む</li> </ul>
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・草薙カルテッドなど地域の関係者・関係機関と連携した支援</li> <li>・学校や地域との連携を図り、多くの人知ってもらい興味をもってもらう。</li> <li>・近所の方にごちからあいさつをし、よい印象をもってもらいたい。</li> <li>・可能な限り防災の会合などにも参加して気になってもらえる存在になる</li> </ul>		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修…対外的な研修にも積極的に参加する</li> <li>・振り返り…研修内容を自分の支援にどう活かすか振り返る</li> <li>・会議（管理者会議・事業所内会議・スタッフ会議）</li> <li>・出勤時の朝礼（確認と前日からの申し送り）</li> <li>・ケース会議（行動だけに目を向けず裏付けとなるものを探る）</li> <li>・イベント等の内容の検討（手段だけでなく目標を明確にする）</li> </ul>
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日や夏休みなど長期休業中のイベント（生活に役立ちそうな内容や季節感を感じる活動）</li> <li>・スポーツ…パラスポーツ体験をとおして、ハンディに負けずにスポーツを楽しむ人がいることを知る。</li> <li>・農業体験…畑だけでなく外の団体とも連携し、作業体験や収穫体験などをさせていただく。</li> <li>・クラフト…見本t全く同じものを作るのではなく、その子の思いが込められた作品を創る。</li> </ul>				